

1. 科目コード

1289

2. 科目名

S51: 日本の国際協力ーSDG's達成への取組ー

3. 担当教員

(未定)

4. 開講期

(未定)

5. 履修要件(前提科目)

なし

6. 科目の目的・概要

本科目は日本の国際協力について、日本の近現代の発展の歴史、協力の理念、実施体制などを通じて学ぶことを目的とします。また日本の国際協力がどのようにSDGsの達成に貢献しているか、JICAの具体的な取組を研究し、学生ひとりひとりの研究課題をSDGsに関連づけ、解決の方向性を考える能力を養うことを科目の目的とします。

7. 授業概要

- 1 コースオリエンテーション・日本の近現代発展史
- 2 開発理論の変遷・日本の国際協力の歴史・日本の国際協力の仕組み
- 3 JICA概要・支援形態と事業内容
- 4 JICA事業予算規模とステークホルダー
- 5 技術協力概要
- 6 技術協力事例研究
- 7 無償資金協力概要と事例研究
- 8 有償資金協力概要と事例研究
- 9 国際緊急援助及び海外協力隊概要
- 10 国際緊急援助及び海外協力隊事例研究
- 11 市民参加及び民間連携概要
- 12 市民参加及び民間連携事例研究
- 13 SDGs概要
- 14 SDGs達成に向けたJICAの取組と事例研究
- 15 発表会
- 16 科目総括

8. 教科書

本科目は教科書を使用しません。

9. 参考書

本科目は参考書を使用しません。

10. 科目の学習目標

- (1) 日本の国際協力の歴史、理念、実施体制を理解する。
- (2) JICAの国際協力を具体的事例から理解する。
- (3) SDGs達成へのJICAの取組を理解する。
- (4) 開発課題をSDGsに関連づけ解決の方向性を考えることが可能になる。
- (5)
- (6)
- (7)
- (8)

11. 本学の教育目標と科目の学習目標との対応

教育目標		学習目標	
高度ICT スキルの修得	基礎的素養		
	専門知識および業務応用力		
人間力 (=探究力) の修得	自ら強みを磨き続ける力		
	自ら社会における 課題を発見し、 解決する力	課題設定	(1)(2)(3)(4)
		仮説立案	(1)(2)(3)(4)
		仮説検証	
		実行	
	社会人基礎力	前に踏出す力	
考え抜く力		(1)(2)(3)(4)	
チームで働く力			
職業倫理の修得			

12. 評価方法と配点

学習目標	達成度評価方法と配点					
	期末試験	小テスト	レポート	発表	成果物	出席
(1)				○	○	
(2)				○	○	
(3)				○	○	
(4)				○	○	
(5)						
(6)						
(7)						
(8)						
配点				30	20	50

13. 評価基準

期末試験	
小テスト	
レポート	
発表	日本の国際協力に関連する情報を収集整理し、自ら選んだ開発課題をSDGsに関連づけて分析し、日本の国際協力の特徴(事業形態)を踏まえた説得力のある発表となっている。
成果物	発表を過不足なく説明している内容であり、SDGsの具体的なゴールへの貢献が分かりやすく説明され、また発表会の講師からのコメントなどを踏まえた事業提案となっている。
その他	出席率6割未満は、発表、成果物の評価に関係なく不合格とする。

14. アクティブラーニング(A:行っている B:やや行っている C:行っていない)

授業時間全体に占めるアクティブラーニングの時間的な割合	40%
-----------------------------	-----

1	授業で得られた知識や技能を活用し、出題された問題を解いたり、課題に取り組むなど能動的学習を行う	A
2	グループワークで課題に取り組み、学生同士が自由に発言することで何らかの課題に取り組むなど能動的学習を行う	C
3	能動的学習の成果を発表し、そのフィードバックを得て自ら主体的に振り返り、学習効果を高める	A
4	学生自身が主体となって、授業における学習の方向性を定める	C

15. 備考

1. 学生は授業時間中、Webサイトを通じた情報へのアクセスが求められますので、通信環境が整ったPCを持参願います。
2. 授業の参考資料はMoodleを通じて事前に共有されます。
3. 授業は復習のため動画撮影、Moodleで共有予定です。

16. 授業計画

(注)授業計画は、あくまでも予定であり、実施時に、適時、追加・変更・修正等が生じる場合があります。

第1－2回：日本の国際協力序論 講義：90分 発表：90分

<講義>

コースオリエンテーション

JICAを含む日本のODAの歴史と特徴

国際開発理論の変遷

<発表>

日本の国際協力の強みと弱み－日本の近現代史、開発理論の変遷を踏まえた意見－

第3－4回：JICA概要 講義：90分 発表：90分

<講義>

JICAの概要、歴史、拠点、各部署の機能と役割

支援形態と事業内容

事業予算規模(支援形態別、地域別、分野別)

JICAとステークホルダー

<発表>

個人的経験に基づくJICA事業紹介(事業形態、JICAとステークホルダーの関係等)

第5－6回：事例研究1：技術協力 講義：90分 発表：90分

<講義>

技術協力概要

事例研究

<発表>

新型コロナの収束に向けた技術協力を通じた途上国支援の提案

第7－8回：事例研究2：資金協力(無償と有償)

講義:90分 発表:90分

<講義>

無償資金協力

有償資金協力

<発表>

自身の研究分野に係る資金協力の事例の情報収集と、選択した案件の概要と成果の要約。

第9－10回：事例研究3：国際緊急援助、海外協力隊

講義:90分 発表:90分

<講義>

国際緊急援助

海外協力隊

<発表>

「私が海外協力隊に参加するならば」応募可能な案件選択、志望理由を発表。

第11－12回：市民参加、民間連携

講義:90分 発表:90分

<講義>

市民参加

民間連携

<発表>

研究テーマに則して市民参加若しくは民間連携事業を提案。

第13－14回：JICAのSDGs達成に向けた取組

講義:90分 発表:90分

<講義>

SDGs概要

SDGs達成に向けたJICAの取組

開発教育とSDGs

<発表>

自身の研究テーマや関心事項とSDGsのゴールやターゲットとの関連を発表。

第15－16回：レポート発表会&科目総括

発表:150分 講義:30分

<発表>

「SDGs達成に向けた国際協力の提案」(仮)

*発表の形式は問いません(レポート、スライド、動画、その他)。

<講義>

発表全体へのコメントと科目全体の総括。
